

平成14または15年度開設 法人授産施設づくりをめざします

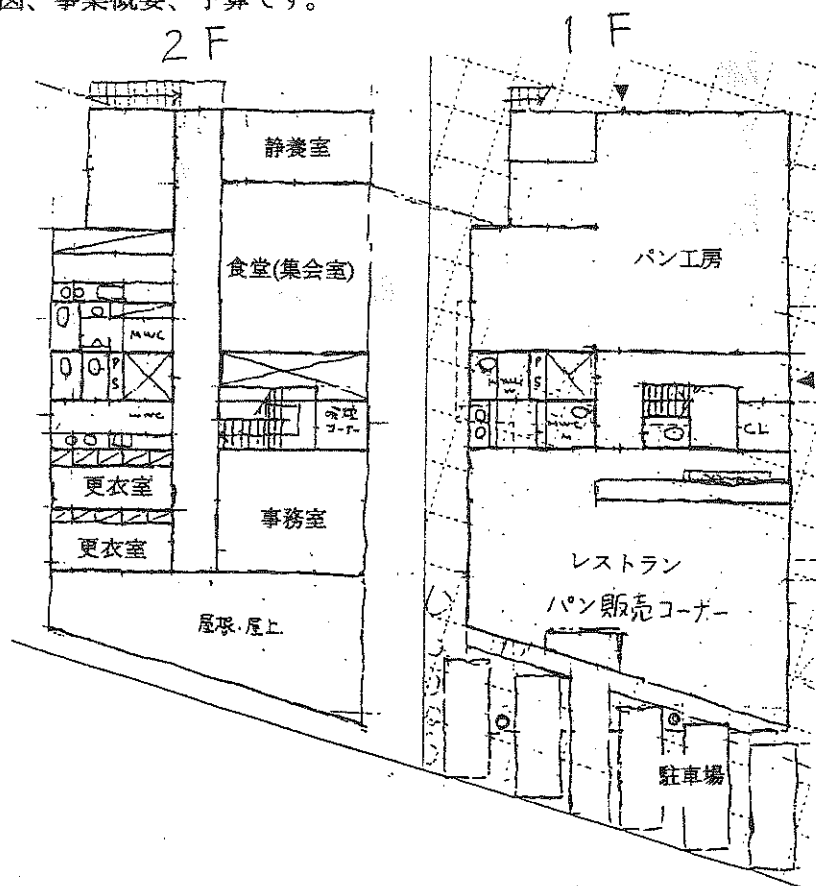
3年前、市民の方より土地利用の申し出がありました。その頃は作業所も3ヶ所になり、次の展開を考え始めていた時でもあり、また狭い賃貸物件で活動することの不自由さを感じていましたので、たいへんうれいお話でした。作業所の建物を建てようか、授産施設を建てようか、これからは居住支援が大事だから援護寮はどうか、アパートを建て福祉ホームにしたらどうかと、いろいろな角度から検討を続けてきました。なかなか明快な方針が決まらず、土地利用の申し出をくださった方にはたいへん申し訳ないことをしました。

3年間の検討で以下のことが分かりました。①社会福祉法人格をとることは困難を極めること（巨額な資金の必要なこと・準備期間中の職員体制が厳しいこと等）、②法人施設になると事務量が多く煩雑になること、③それでも社会福祉法人格取得は今後の展開のうえで大きなプラス(社会的信頼等)になること。その結果として私たちは、10年の作業所活動の実績をもとに一層地域へ溶け込み、社会的に認知された活動拠点を持つために授産施設の開設を目指すことにしました。

その場で軽食もとれるパン屋、地域に愛される素敵なお店をイメージしています。また働く場ではありますが、メンバーにとって居心地のよい場所であることも大事にしたいと思えます。

以下は、現時点での平面図、事業概要、予算です。

予想平面図



事業計画案

授産内容—本格的パン製造(天然酵母、国産小麦のパン・焼き菓子)
 およびイートイン付きカフェ・レストラン
 作業内容—パン製造,イートインコーナー販売スタッフ,カフェレストランスタッフ
 (厨房と接客)、焼き菓子の包装スタッフ、清掃スタッフ、園芸スタッフ
 など。
 定員—28名
 建物—床面積441㎡
 職員体制—常勤4名および非常勤1名
 地域活動の拠点—授産施設1、作業所2ヶ所がそれぞれ特徴を持ちながらも連携し
 あう。そのための本部の機能を持つ。また将来は居住施設の開設等、地
 域活動展開の拠点としての役割も負っていく。

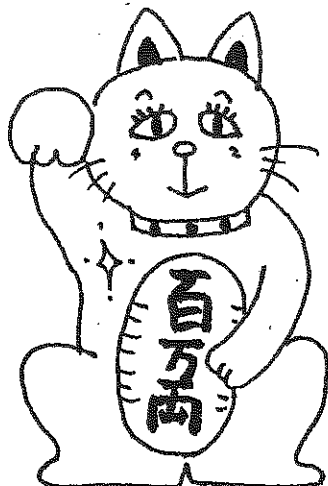
予算案 (現時点で私たちが考えている予算案です)

支出		収入	
土地購入費	86,530,000	補助金(国と都)	15,308,600
建物設備費	132,050,000	自治体からの補助金(希望額)	4,064,400
法人事務費	2,200,000	自己資金	10,550,000
運転資金	3,500,000	借入金	20,000,000
計	224,280,000	計	224,280,000

今後の課題

- ・建設に必要な資金づくり①昭島市からの支援の獲得
 ②市民の方々からの支援獲得

賛助会99年度会費の納入および新加入のお願い♡



賛助会費は標記施設づくりのために使用していきます。
 皆様のご協力をお願いします。現在の賛助会費積み立て
 額は581,400円です。

加入者には年2回通信をお送りします。

申し込み方法

郵便為替でお願いします。

口座番号 00190-0-671647

口座名称 ゆいのもり

年会費 1口2000円

ザ・サードゆいのもり。職員交代です

ザ・サードゆいのもりの職員、八幡智絵さんが99年9月に退職しました。1年6カ月の間、目の回るような忙しさの職場で、やさしさを忘れずに動めていただいていたありがとうございます。福祉分野の新たな仕事をめざして、現在就職活動中だそうです。

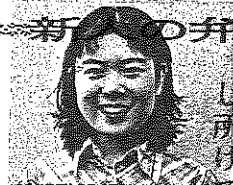
一方八幡さんにかわって、8月より菜花美樹さんが新職員としてザ・サードゆいのもりに勤務しています。菜花さんは、病院のケースワーカーからの転職。喫茶森での接客、車の運転、ランチの仕込みなど、慣れない仕事に意欲的に取り組んでいます。

退職の弁 八幡 智絵

9月末日で1年6カ月勤めたザ・サードゆいのもりを退職しました。ゆいのもりでは、職員、メンバーをはじめ、ゆいのもりに関わる多くの人々に温かく、やさしく見守られ、励まされ、短い間ですがここまでこれたのだと思います。ゆいのもりでは多くのものを教えられました。メンバーのひたむきな働く姿は、せいっぱい誠実な姿勢がどんなに周りにいる人に一緒に頑張ろうというやる気を与えてくれるかを教えてくれましたし、限られた時間の中で効率よく仕事をする大切さも大きく教えられたところです。本当にありがとうございました。



新入りの弁 菜花 美樹



はじめまして。ザ・サードゆいのもりで8月25日から職員として働くことになりました。それまでは病院のケースワーカーとして働いていたのですが、大学の頃の作業所での実習が楽しかったのをずっと忘れられなかったので、ここで皆さんと一緒に働けることになったのをとてもうれしく思っています。まだまだ分からないことだらけですが、皆さん、いろいろ教えて下さいね。皆で助け合って楽しい作業所にしていくといいなぁと思います。どうぞよろしくお祈りします！

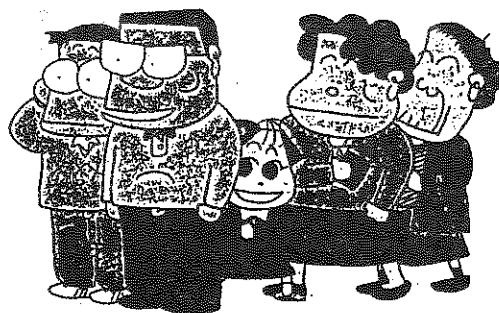


みんなのバザー
 今年は
 消費生活展主催
 バザーと合流!!

10月17日(日) ☆

10:00 ~ 16:00

昭島市民会館
 公民館に2



☆雨天9時は、「みんなのバザー」は
 10月24日(日) 10:00 ~ 14:00
 つじが丘スポーツセンター多目的ホールにて行ないます!

1999年

ゆいのもり社 活動報告

昭島市緑町1-10-3コーポ高野201
〒196-0004 TEL042-545-5451

ゆいのもり社とは
精神障害者のための共同作業所です。

基本事業

1. 作業の場、交流の場、レクリエーションの場を提供する。
2. 日常生活上の相談、年金相談などに応じ、援助活動を行う。

運営

1. 都と市からの補助金により運営されている。
2. 作業所利用者の家族、保健婦、市民、精神科医、精神科ソーシャルワーカー、職員で構成された運営委員会が運営にあっている。

規模

1999年4月1日現在

- Aランク ・利用者 38名（男性34名、女性4名）
・職員 3名

1週間のスケジュール

	9:50~10:00	10:00~12:00	13:00~15:00
月	ミーティング	作業	作業
火	"	料理作り & 作業	スポーツ等
水	"	作業	作業
木	"	料理作り & 作業	作業・ミーティング等
金	"	作業	作業

1998年度運営費会計

(収入)		(支出)	
・補助金	20,261,040	・職員給料・共済費等	17,516,110
・寄付金	1,112,052	・家賃・駐車場代	1,837,600
・バザーなど運用収入	679,639	・光熱水費	165,928
・前期繰越金	96,601	・事務費、消耗品、通信費、燃料等	1,573,118
・雑収入	5,355	・行事費、指導用材料費、保険等	793,133
計	22,154,687	計	21,885,889
		次期繰越金	268,798

作 業

室内作業 (時給120円)	紙袋作り、商品説明書折り等。 軽作業で取り組みやすいが、工賃が安い。
会社清掃 (640円)	電子部品会社「ケル」の清掃。毎回5名ずつで出掛ける。 企業から直接受けている仕事なので時給がよい。
事務作業等 (250円)	銀行入金払い戻し、ワープロによる資料作成、バイク自転車便 農作業等。
水やり (400円) (顛500円)	市からの仕事。4月～10月。週1～2回、昭島駅前花壇 ・プランターの水やり、除草、消毒、ゴミ拾い、植えかえ を行う。適度な作業量で、気分転換にもなる。
ワックスがけ (640円)	朝日町高齢者福祉センター(市)、社会福祉協議会のふれ あいコーナー、河内クリニック、ケル隣の床清掃を行ってい る。技術は充分自信を持っている。専門的技術修得の楽しみ があるため利用者に好評。

・メンバーの1か月の工賃 平均7000円 1番多い人30000円

98年度作業収入と支出

(収入)	(支出)
・前年度繰越し 613,736	・工賃支払い 3,128,215
・工賃収入 3,346,548	
・雑収入 664	
計 3,960,948	計 3,128,215
	次期繰越金 832,733

行 事

行事は、月例ミーティングの中で決め、メンバー、職員がそれぞれの役割分担を決め実施している。

☪☪☪ 1998年度の行事 ☪☪☪

- 4月 ・花見(昭和記念公園) ・バッチングセンター
- 5月 ・昭島市グリーンフェスティバル出店 ・焼き肉食べ放題
- 6月 ・初夏旅行(藤野芸術の家) ・ソフトボール(対ぱんぷきん)
・パットパットゴルフ ・ゆいのもり総会
- 7月 ・バッチングセンター ・ボーリング大会
- 8月 ・昭島市くじら祭出店 ・ロイヤルホスト食事会
- 9月 ・多摩地区交流バレー ・ぶどう狩り(昇仙峡とワイン酒造)
- 10月 ・みんなのバザー ・ボーリング大会(五日市勤労福祉会館)
- 11月 ・バーベキュー大会(拝島自然公園) ・ソフトボール(対ぱんぷきん)
・台湾旅行☪
- 12月 ・一泊旅行(湯西川温泉小田急バスツアー) ・忘年会(中華料理店
「交電」にて)
- 1月 ・ボーリング大会(五日市勤労福祉会館)
- 2月 ・もちつき大会 ・イチゴ狩り(秩父ナチュラルファームシティ農園)
- 3月 ・梅見と青梅かんぼの湯ツアー ・ソフトボール(対瀧川メンタルク
リニック)

台湾旅行

昨年11月、有志10名で行って来ました。3人のメンバーが感想をまとめてくれました。

本場のラーメンは薄味だった

私が台湾に行って印象に残ったことはまずバイクの多さです。車での移動中に窓から車道を見てもバイクばかりでした。それと中華料理の本場の薄味のラーメン、これは日本の中華とは明らかに違っていました。

後もう一つは足つぼマッサージです。やってもら前は気持ち良いものかと思っていましたが、実際にやってもらおうとこれが痛くて仕方ありませんでした。やってもらっている間は激痛との戦いで脂汗が出っぱなしでした。あれはもう二度と経験したくありません。

それから私が滞在していた間は、何かの選挙の前らしく選挙運動をしている車が日本では見たことがないようなものだったことです。それはトラックの荷台で人が太鼓をたたいていてハデな色ののぼりが立っていてという具合でした。私にはそれがここは台湾なんだなあと思わせました。今は地震で大変なようですが、また行ってみたい魅力的な国だと思います。

K, M

コンビニでトロピカルジュースを

原稿依頼を受けた日に台湾で大地震が発生したので、何とも複雑な気持ちがしないでもないのだが…。まあそれはおいておくとして。

羽田空港から約3時間で台湾についた。台北国際空港から一步外へ出たところ蒸し暑さが感じられました。現地のツアー添乗員さんのご案内でマイクロバスに乗車した。台湾は中国との関係がなければ、平和な進んだ電子立国です。ちなみにパソコン生産量では世界一位。

李登輝総裁は実にリベラルな顔をしています。中国よりはるかにリッチな国です。在留邦人が約1万人程いるようです。私は台湾が好きになりました。コンビニでトロピカルジュースをたくさん飲みました。

さて私がこのツアーで一番愉快だったのは、とある公園で一服しているとき、老紳士に東京から来たんですよと声をかけると流暢な日本語が返ってきたことです。

まあ私の場合、こうして海外ツアーに行けるのも職員の吉田さんがいなければできなかったであろうとも思われます。ゆいのもり社に入って良かったの一念です。旅行は楽しいですね。

赤羽 隆志



もう一度行きたい

日本の手近な所にある台湾は以前から多少興味がありましたので、行く前から楽しみでした。さて実際に当地についたら私の思っていた通りでした。私たちの泊まった台北のミラマーホテルですが、まわりはまるで東京の原宿や代々木のようなようでした。まったくゴージャスなホテルでした。

また現地のガイドさんは私たちをいろいろな所へ案内してくれ、それがとても楽しかったです。中でも一番驚いたのは、蒋介石総統の銅像でした。すごく大きいのです。食べ物も非常にうまくて十分にエンジョイしました。日本に帰る最後の晩に皆でバイキング料理を楽しみました。台湾は私がもう一度行ってみたい国の一つです。

ポチ

~~~~~  
MEMBER 投稿のページ MEMBER  
~~~~~

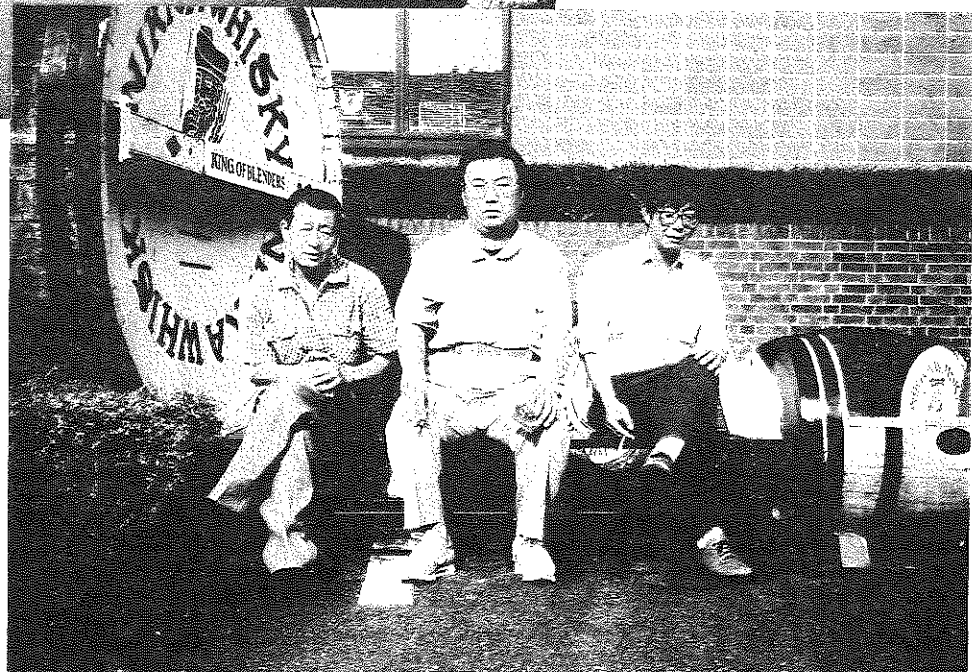
- 俳句
- ・虫の音の 響く暗闇 上弦の月
 - ・時計の音 外は涼しく 晩夏の夕暮れ
 - ・虫の音に 闇深くなる 窓の外
 - ・祈りせば お御堂の外で 蝉が鳴く

石林



本文とは全く関係がありません。
今年の6月にハートピア喜連川に行きました。その途中ニッカのウイスキー工場に立ち寄った時のものです。

後ろ姿だけで
ごめんなさい!



今回文章と俳句を
寄せてくれた方
たちです。

「食工房ゆいのもり」 1998年度 活動報告

【施設紹介】

- 「食工房ゆいのもり」は「ゆいのもり社」を母体にして1993年1月に開設された昭島市内で2カ所目の精神障害者共同作業所です。
 - 市内中神アパート内に工場を持ち、パン・菓子の製造・直売の作業に取り組んでいます。
 - その他、自主活動としてスポーツ・調理実習・レクリエーションの場を提供したり、日常生活上の様々な相談に応じて援助活動を行っています。
- ～食工房ゆいのもり～ 所在地 〒196-0022 ☎/FAX042-542-5160
昭島市中神町1256番地 都営中神アパート5号棟1階

【運営総括】

- 1998年度は東京都補助金交付要綱のAランク+相談員加算で運営を行いました。
- 利用者の登録数は男性12名・女性17名の合計29名（1999年3月末現在）、職員数は常勤3名・非常勤2名で、その他ボランティアによる協力があります。
- 財政は都と市の補助金を中心に各団体からの助成金・個人寄付などで維持されています。市民・精神科医・PSW・保健婦・職員で構成された運営委員会がその運営に当たっています。

その他、1998年度は前年に引き続き国庫補助金（110万円）の交付を受けることが出来ました。また、今年度は特別に「景気対策活性化事業補助金」として、717000円の国庫助成を受けることとなり、コピー機・ワープロ等、事務室備品の購入を行いました。

○1998年度は開設6年目ということで、これまでに身に付けた製パン等の作業技能を活かして働いていけるよう、分割・丸め～成形（一部）は作業生の力量に一任しています。

菓子パンの成形作業については、希望者に内部研修を行い、現在日常の工房作業で実際の菓子パン製造に主体的に取り組んでいます。

- 昨年に引き続き、季節ごとのフルーツや野菜などを素材にした製品の提供を中心に、定期的な予約制のパン購入グループへの配送をベースに充実した作業が行われました。
- 昨年度、ドウコンディショナー（高性能発酵機）の購入を行ったため、天然酵母パン（オーバーナイト法）や折込油脂製品（冷蔵発酵法）の実験や製品化に向けて検討を行いました。
- ヤマト福祉財団より「製パン用粉ケース付麺台」に助成（330000円）を受け、原材料の衛生的管理などの点で、工房作業がレベルアップしました。（総額514500円）

【運営費会計】

〈収入〉		〈支出〉	常勤職員給料他	12922511
			非常勤職員手当	965430
			旅費	59441
			消耗品費	302368
			光熱水費	836814
補助金(国・都・市)	19332890		備品購入費	1443185
寄付金(昭島社協より)	30000		賃借料	2458320
共同募金会	275000		行事費	374572
運用収入	360000		借入金返済	1400000
借入金(つなぎ資金)	1400000		その他	670268
前年度繰越金	198113		次年度繰越金	177981
雑収入	14887			
合計	21610890		合計	21610890

【作業概要】

～製菓・製パン～

- 食パン・フランスパン・菓子パン／全粒粉クッキー・パウンドケーキなど国産小麦100%のパン・菓子の製造を行っています。
- 作業工程は仕込→分割丸め→成形→仕上げ→焼成→包装と段階があり、各自の体力・経験・技術力などによって分担しています。（作業時間はおおむね10時から14時頃まで）
- 高度な技能のいる仕事もあり熟練を要します。必要に応じて、利用者の技術向上のため、製菓・製パンの研修（実技）を開催しています。
- その他、くるみやチーズなどの刻み調理、りんごジャムや各種パン用フィリングの製造、ラベル貼りなどの作業も並行しています。
- 2ヶ月に1回、工房の大掃除を行い（くん煙を含む）、機材の点検等を行っています。

～販売・配送～

- 接客に関心のある利用者が担当し、職員も手伝っています。
関係機関・団体・グループでの予約購入を中心に、職員と作業生とで市内／立川・青梅方面に焼きたてパンの配送を行っています。

～バザー等への出店～

- 昭島幼稚園バザー

～工賃～

- 作業にかかわらず一律@200円です。

【食工房ゆいのもりを施設見学した団体】

- 八王子生活館、のぞみ福祉園、瀧川メンタルクリニック家族会、援護寮「ほたるの里」、ザ・サードゆいのもり

【実習受け入れ】

- 当年度はなし

【自主活動の概要】

～ミーティング～

- 毎朝10分程度／毎月第1火曜日午前10時より2時間程度

～スポーツ～

- バレーボール・卓球・バトミントン（航空電子体育館を使用）・ボーリング
＜団体参加したスポーツ大会＞
多摩地区バレーボール大会（9/11実施、ゆいのもりチーム第3位）

～調理実習～

- 米代を除いて材料費を各自自己負担、チーフ制で作ります。（200～400円位）
→カレー・チキンライス・ちらしずし・クリームシチュー・スパゲティ・ミートソース・ハンバーグ・流しそうめん・五目ずしとけんちん汁・シュウマイ・豚しゃぶ・中華丼

～ゆいのもり社、ザ・サードゆいのもりとの合同～

- スポーツでの交流＜毎月第3火曜＞（航空電子(株)体育館を借用して）

他団体との交流～

- カレー屋「あんだんて」（共同作業所・日野市）見学、試食

～清掃～

- 「くん煙後の工房清掃」を年6回行う。
- 「休憩室掃除」を年6回行う。
- 「倉庫掃除」を年2回行う。
- 「一斉清掃」でマーケット周辺掃除を毎月1回行う。

～健康管理～

- 歯科指導実施 < 4/28 (火) >
- 歯科健診実施 < 5/13 (水) >
- 定期健康診断実施 < 8/3 (月) >
- 細菌検査実施 < 5/12 (火)、9/1 (火) >
- 歯科指導者講習会出席 < 多摩立川保健所 1/18 嶋田 >

～活動研究会～

- 11/27 (金) → 天然酵母パン、チャパッタ、プレッサン
- 1/19 (火) → ナン、シーフードグラタンパン、天然酵母パン、
レモンクリーム&ダークチェリーパン

～職員研修～

○精神保健研修受講

- 5/16・6/3・10・16・24 ボランティア基礎研修<修了証あり> (佐野)
- 6/30 精神保健福祉研修SST (岡田邦)
- 7/6 精神疾患基礎研修、11/26・27 共同作業所職員入門研修 (渡邊)
- 11/20 精神疾患基礎研修 (岡田一)
- 12/3 精神障害実務研修 (丸山)

○製パン関連研修受講

- 2/4・12 多摩立川保健所「健康作り調理師研修会」(嶋田)
- 11/20・21 星野天然酵母製パン研修会 (岡田邦)
- 2/26 モバックショウ (嶋田、岡田邦、渡邊)

～法人化検討～

- 援護寮「ほたるの里」見学 12/3 (火)
- 社会就労センター「ピアス」見学 1/12 (火)
- 法人化検討委員会開催 8/31 (月)、11/5 (木)、3/1 (月)
- 法人化検討のための合同職員会開催 7/2 (火)、2/16 (火)

～総会～

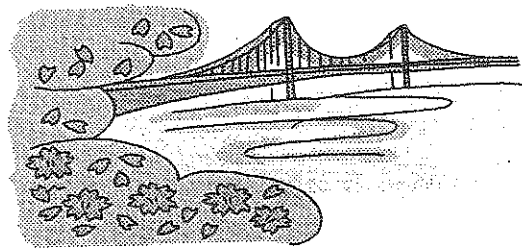
- 本年度「ゆいのもり総会」実施 < 6/27 (土) >

～広報誌～

- 広報誌「ゆいのもり」第5号発行

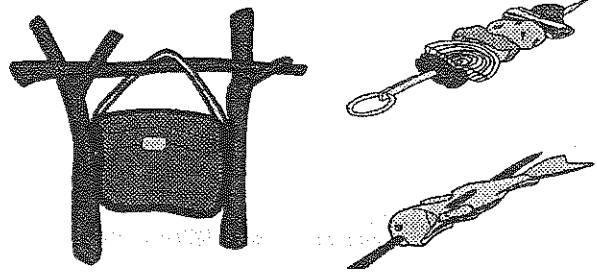
春

梅見（百草園）
塩船観音つつじ見
花見（昭和記念公園）
神代植物公園バラ園見物
羽村動物公園見学
ベーカリーレストランにて会食
（サンマルク福生店）



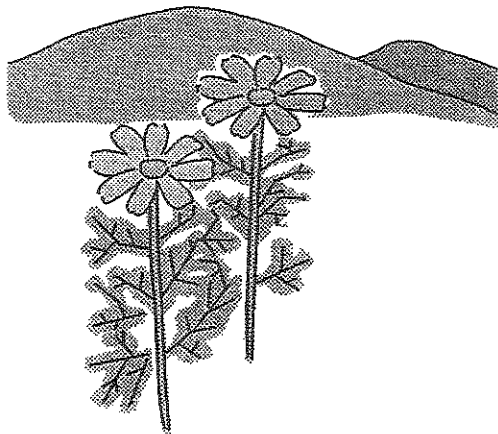
夏

多摩動物園見学
バーベキュー
ます釣り（羽村養魚場・拝島自然公園）
高幡不動あじさい見物
三ツ合鍾乳洞見学
府中郷土の森プラネタリウム見学



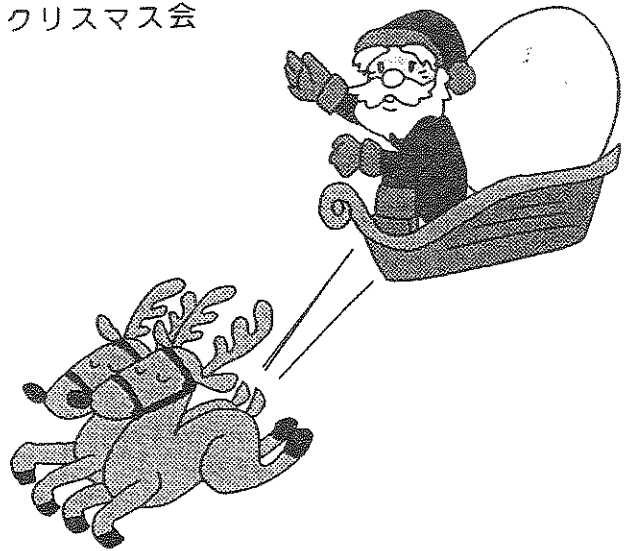
秋

喫茶「森」見学
一泊旅行（湯河原）
昭和記念公園コスモス見物
芋煮会（拝島自然公園）



冬

いちご狩り
焼肉食べ放題
クリスマス会



○通年→茶話会・カラオケ大会・ビデオ鑑賞・レストランにて会食

～その他～

○精神保健福祉法に基づき「小規模作業所認定交付申請書」提出後、認定済。

1998年ザ・サードゆいのもり活動報告

東京都昭島市緑町1-10-3コーポ高野203
〒196-0004 TEL/FAX 042-542-6776

ザ・サードゆいのもりとは

1997年に昭島市内にオープンした精神障害者のための3つ目の共同作業所です。

基本事業

1. 市役所1階「喫茶森」の運営を通し、一般就労への訓練の場を提供します。
2. 交流の場、レクリエーションの場を提供します。
3. 日常生活や年金の相談にのったり、関係機関につなげるなどの援助活動を行います。

規模

1999年4月現在 Bランク 利用者21名(女性11名 男性10名) 職員 常勤2名 非常勤1名

1998年度運営費会計

〔収入〕		〔支出〕		(単位:円)
補助金	11,594,320	職員給料・共済費等	8,479,404	
寄附金	98,000	家賃・駐車料金	756,000	
共同募金会	260,000	光熱費・事務費・消耗品等	2,175,802	
雑収入	1,648	行事費・指導用材料費・保険等	642,461	
前年度繰越金	144,023	次年度繰越金	1,584	
国庫補助金臨時配分金	717,000	活性化事業対策備品	759,740	
	12,814,991		12,814,991	

1日の作業の流れ

厨房タイムスケジュール	喫茶タイムスケジュール
9:00 始業 作業所でランチメニュー仕込み 同時にケーキづくり開始	9:00 始業、早番・作業所に到着 生クリーム溶立て、金庫準備、ケーキのカット等開店の準備
10:00 ケーキ、クッキー、ピザトースト 翌日のメニューの下準備	9:30 車に荷物を積み込み喫茶森へ移動 9:35 店の掃除、開店準備
12:00 作業終了 昼食	10:00 喫茶開店、接客開始 11:30 中番・昼番、作業所に到着・昼食
	12:00 中番・昼番、喫茶へ移動 12:30 遅番・作業所に到着・昼食
	13:00 遅番・喫茶へ移動、早番昼番と交代 15:00 中番・接客終了、作業所へ移動
	16:00 喫茶営業終了、作業所へ移動 流器・作業所掃除・焼片付け・売上計算
	16:45 作業終了

9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

作業所 開所時間		9:00~17:00	
喫茶 営業時間		10:00~16:00	
厨房	9:00~12:00	中番	12:00~15:00
		昼番	12:00~13:00
早番	9:15~13:00	遅番	13:00~16:45

1998年度 喫茶営業成績

(98年3月21日~99年3月20日)

営業日数	209日	1ヵ月平均営業日数	17.4日
客数	10,040人	1日平均客数	48.0人
売り上げ	4,797,101円	1日平均売り上げ	22,952円
客単価	477円		

〔収入〕

売り上げ 4,797,101円

 4,797,101円

〔支出〕

原材料費 2,181,553円
 人件費 1,494,393円(工賃ハ)
 次年度繰越 1,121,155円

 4,797,101円

1998年度 工賃

〔収入〕

前年度繰越金 263,426
 工賃収入 1,377,342
 雑収入 201

 1,640,969円

〔支出〕

作業工賃 1,378,671
 次年度繰越金 262,298

 1,640,969円

時間給与: 97年5月には150円でしたが、99年9月現在は250円です。
 平均賃金: 平均労働時間25.1時間×250円=6,278円 (99年9月)
 最高額: 53.6時間×250円=13,408円 (99年9月)
 最低額: 3.2時間×250円=805円 (99年9月)

レクリエーション

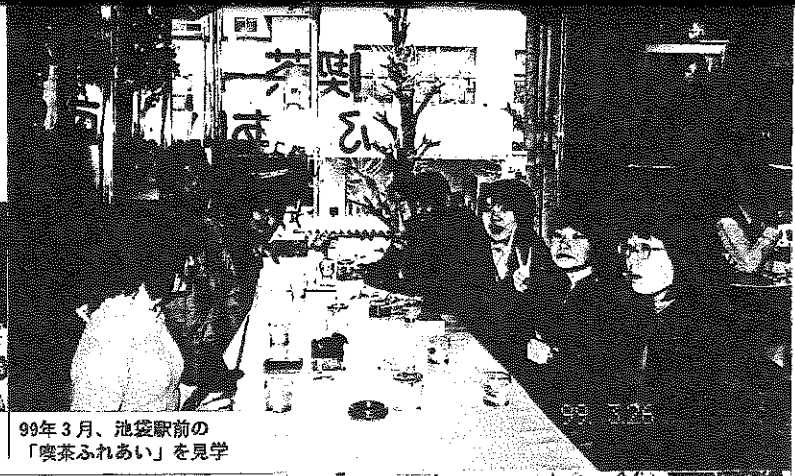
ゆいのもり社と合同でバレーボール、ソフトボール、ボーリングなどのスポーツや、旅行などのレクリエーションを行っています。98年冬の一泊バス旅行は栃木県の湯西川温泉へ、99年夏の一泊旅行は栃木県のハートピアきつれ川へ、そのほか芋煮会、お花見、いちご狩り、ぶどう狩り、もちつき大会などの行事を行いました。忘年会、暑気払いは恒例のカラオケ大会を行いました。

研 修

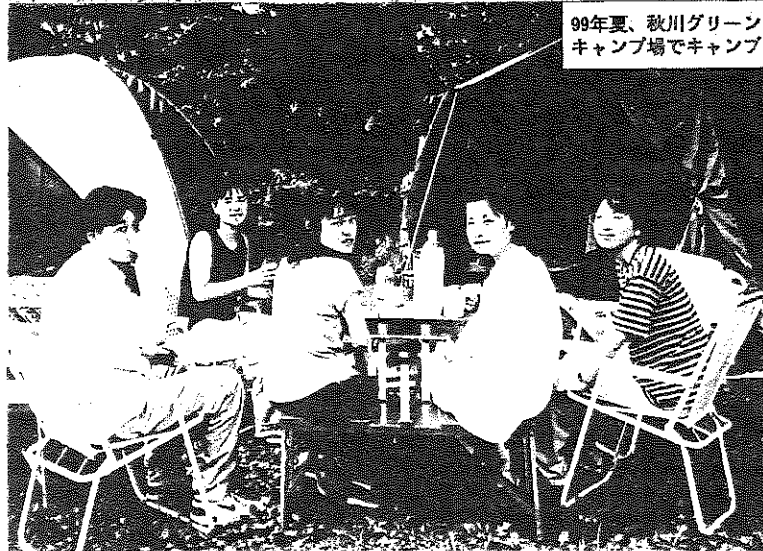
99年は、毎月新メニュー企画食事会を行い、森のメニューを研究しています。また3ヵ月ごとに、他の作業所が運営する喫茶・レストランの見学会を行っています。これまでに池袋の「ふれあい」、三鷹の「むうぶ」、町田の「トマトハウス」を見学しました。



毎回大盛況、喫茶森の
ケーキバイキング



99年3月、池袋駅前の
「喫茶ふれあい」を見学



99年夏、秋川グリーン
キャンプ場でキャンプ



99年春、ゆいのもり社と
合同で昭和記念公園でお花見

恒例、秋のぶどう狩りはゆいのもり社と合同で山梨県の勝沼へ



- 10月
 - もちつき大会。
 - 秩父へいちご狩りと温泉に。
- 9月
 - ソフトボール、対滝川メンタルクリニック。出場と応援。
 - 店舗見学会、池袋の喫茶ふれあいへ。
 - 春休み。
- 8月
 - 新メンバー名入所。
 - 昭和記念公園にてお花見。
 - 喫茶に大テーブルが入り、好評を博す。
 - アサヒタウンズに喫茶森の取材記事掲載される。
 - グリーンフェスティバルに参加。
- 7月
 - 森、開店3年自記念ケーキバイキング。なんと朝から行列。
 - 福祉コンサートに参加。ケーキ200個完売する。
 - 店舗見学会、三鷹むつぶへ。
- 6月
 - 全家連のホテル、ハートピアきつれ川へ一泊旅行。
 - 食工房職員、渡辺さん、サイドにて研修。
- 5月
 - 新メンバー名入所。
 - 秋川グリーンキャンプ場で初めてのキャンプ。
 - 喫茶に目立つ看板が入る！
- 4月
 - くじらまつり、昭和記念公園にて。
 - 大掃除の後、恒例の墨気払いカラオケ大会。
 - 夏休み。
 - 休み明け一番に店舗見学会、町田のトマトハウスへ。
 - 菜花美樹さん、サイドの新職員に。
- 3月
 - 多摩地区バレーボール大会、3位！
 - 山梨県へぶどう狩りに。
 - 職員の八幡智絵さん9月いっぱいまで退職。



98年秋、台湾旅行の最終日
台北市内の市場で買い物



99年初夏の一泊旅行
栃木県のハートピアきつれ川へ



月に1度の新メニュー企画食事会
今日のメニューはチキンハープ焼



喫茶森は10時から4時まで
カウンター内を片付けて今日はおしまい



98年秋、「みんなのバザー」で
ケーキとクッキーを売る



99年5月、三鷹の杏林大学病院前
「食茶房むうぶ」を見学

99年、新年あけましておめでとう。
 1月13日より喫茶森、営業再開する。

栃木県湯西川温泉へ一泊バス旅行。ゆいのもり社と合同
 ケーキバイキング。冬休み。

新メンバー2名入所。
 ゆいのもり社と合同で河原でバーベキュー。
 市役所で行われた青少年フェスティバルに参加。
 台湾旅行。海外旅行は初めてというメンバーも。

みんなのバザー、サードもクッキー、ケーキを売る。

海外旅行に向けバスポートの申請が始まる。
 多摩地区バレーボール大会、3位！

元職員小林さんの新職場、老人ホームもくせい苑見学。
 大掃除・夏休み。

元職員小林さんの新職場、老人ホームもくせい苑見学。

山梨県藤野芸術の家へ初夏の一泊旅行。ゆいのもり社と合同。
 ソフトボールではんぶんさんと対戦。サードからも2名出場。
 ゆいのもり絵会、ケーキ、コーヒーで接待。寸劇が好評。

ゆいのもり社と合同でボーリング大会。サードからも参加。
 黒崎さん、非常勤職員としてサードへ。

くじらまつり、ゆいのもり社とともに昭和公園にて。
 ケーキバイキング

99年、新年あけましておめでとう。
 1月13日より喫茶森、営業再開する。

ゆいのもり
の
仲間たち

3

コミュニティを大事に自立生活へ
自立生活センターCIL昭島

江戸街道沿い朝日町に事務所を構えるCIL昭島は、1997年10月に創設した障害者のための自立生活センターです。CILとは、センター・フォー・インディペンデントリビングの略で、アメリカのパークレイで始まった自立生活運動のこと。CIL昭島は障害者の自立生活に向けて、介助派遣サービス、移送サービス、自立生活プログラム、ピアカウンセリングなどを行っています。

障害者自身が運営委員や代表、事務局長を務め、事務局員の過半数が障害者で占められています。ご自身も障害をお持ちのCIL昭島代表の吉沢孝行さんにお話をうかがいました。



昭島公民館での講座を終えたCIL昭島スタッフと受講者。右側の車椅子が吉沢さん。

自立生活という言葉は、昭島の中ではまだ耳慣れないと思いますが、介助を受けながら地域で自立して生活をしていくために、介助が欲しい人、介助スタッフを希望する人の双方をコーディネートするのが私たちの仕事です。障害の種類は問いません。24時間、365日体制です。もちろんゆいのもりの方にも利用していただけます。

その際、介助者を何人、何時間入れるか、といった意思決定は必ず本人が行います。同じ障害をもつ

人がピアカウンセラーとして、「私はこういう形で利用しているけれど、あなたはどうか？」と本人と一緒に考えていきます。とにかく自分で決めることが大事です。行政や親が決めるのではなく、本人の意思を最も重要視します。またピアカウンセラーというロールモデルがいることで、障害者が、自分も自立できるんだ、と希望をもてるのが重要です。

介助に関して言えば、今はまだある一定のところ、親だとか、施設だとかにその役割が集中しています。ですから自立生活というと、親から自立する、施設から出るといったことがイメージされて、障害者と親、双方が対決姿勢になりがちです。しかし今あるコミュニティをこわさずに、自立生活に移行できるのがいいと思います。

障害者のめんどろは身内で見なければ、という意識や、自宅に人を入れることへの抵抗感から、介助を受けること自体が、日本の土壤には十分なじんでいるとは言えません。例えばヘルパーさんが来るから朝早く起きて掃除をする、といった笑い話のような話も聞きます。

でもこのごろ、障害をもつ人のまわりの人たちは考え方がずいぶん変わってきているな、と感じます。1週間に1度だけ介助をお願いしたい、といった受け手のニーズに合わせて、私たちも外出のお手伝いとか病院の送り迎えなどのサービスにも対応していきたいと思っています。旅行などに移送サービスと介助派遣サービスを組み合わせて利用していただくこともできます。

もちろん将来的には、障害者が地域で生活することが前提です。そのためにも、介助を地域で支えることができれば、当事者もコミュニティで生きていくことができます。子どもも親もそれぞれに人生があるんだという意識が、日本ではまだできていないのでなかなか難しいのですが、介助を受けるということは、社会資源の活用だと私たちは考えます。それを昭島の人にもゆるやかに認識していただいて、おおいに利用していただきたいと思います。

■■■編集後期■■■

涼しくさわやかな季節となりました。今年度は、恒例の総会を行わず、通信紙面で皆様に活動報告をすることになりました。三作業所三様の笑いあり、涙あり(?)の奮闘ぶりを少しでも感じていただければ、発行したかいがあったというものです。(桃湖)